

様式-1 (工事目的物別数量数量総括表): 項目説明 (1/2)

														No	A		
														項目 (レベル3) コード	B		
														契約項目 (レベル4) コード	C		
														契約項目名称	D		
工事目的物番号	細目 (レベル1) コード	設備中区分+細目	内訳本体+付属構成品 目的物 (レベル2) コード	工事目的物名称	路線 コード	自 IC コード	至 IC コード	連絡休憩 施設 コード	上下 区分 コード	測点(自)	測点(至)	構造物 コード	橋台・橋 脚番号 (自)	橋台・橋 脚番号 (至)	細目 数量	契約項目計 目的物数量	E
<p>← ~ までのフィールドは、工事目的物を特定する為の『工事目的物諸元』として取り扱います。 →</p>																	

番号	項目名称	コードの意味	コードの種類と入力方法の説明	備考及び注意点
	工事目的物番号	工事目的物を特定するための番号	工事目的物を特定するため、一位となる番号を付番してください。 1	様式-1 と様式-2 における同一の工事目的物は、同じ番号としてください。
	細目	契約項目一覧表に示す設備中区分 + 細目に該当するもの (契約項目一覧表を参照)	設備中区分+細目が「0101」の場合 「0101 土工 切土」となる。 設備中区分+細目が「0301」の場合 「0301 用・排水構造物(鉄工造)」となる。 契約項目一覧表を参照してください。 2	を「レベル1」と表現します。 設備中区分 + 細目は、同一の設置区分 (IC(JCTを含む)、IC間、連絡休憩施設、移管予定施設) 配下では重複しないようにしてください。
	目的物	契約項目一覧表に示す主な内訳本体及び付属構成品に該当するもの (契約項目一覧表を参照)	レベル1が「0101 土工 切土」の場合 0101 切土、9001 路盤、9002 植生のり面工、... レベル1が「0301 用・排水構造物(鉄工造)」の場合 0100 排水設備、9001 集水ます、9002 マホール、... 同一コードでも、レベル1により名称が異なる点に注意してください。 契約項目一覧表を参照してください。	を「レベル2」と表現します。 レベル1で入力された 設備中区分 + 細目 配下にある工事目的物を選択してください。 (コードが同一でも「レベル1」の設定が間違っていると名称が異なりますので注意してください。)
	工事目的物名称	工事目的物の名称	工事目的物が特定できるよう判り易い名称を設定してください。 (例「下部工 高架橋 P1」、「切土 IC~ x x IC」、...etc)	

1 工事目的物：工事目的物とは、工事で構築（改築を含む）する工事対象物をいう。

工事目的物は、同一工種（同じ土工等）であっても工事対象物の構造内容（切土や盛土等）により区分されます。

また、同一工種・同一構造内容の工事対象物であっても設置区分（IC(JCTを含む)、IC間、連絡休憩施設、移管予定施設）毎に区分してください。

例) ICを含む(跨ぐ) IC~ IC~ IC間の土工工事(設計)である場合の工事対象物(土工切土\_切土:0101\_0101)は、

IC~ IC、 IC、 IC~ IC に区分し工事目的物の設定を行う。

工事目的物番号:1 IC~ IC/0101:土工切土/0101:切土

工事目的物:2 IC/0101:土工切土/0101:切土

工事目的物:3 IC~ IC/0101:土工切土/0101:切土

なお、工事目的物(細目ならびに目的物)の分類については、契約項目一覧表を参照し設定してください。

2 契約項目一覧表：契約項目一覧表とは、工事目的物の分類ならびに契約項目を関連付けした積算基準体系を一覧にしたものとなります。

様式-1 (工事目的物別数量数量総括表): 項目説明 (2/2)

番号	項目名称	コードの意味	コードの種類と入力方法の説明	備考及び注意点																				
	路線コード	路線コード (技術情報コード 3を参照)	当該工事目的物の路線コードを4桁で設定してください。	<p>～ までの組合せを「諸元データ」と表現します。諸元データはレベル2 (工事目的物) の設置情報等の設定となります。</p> <p>レベル2コードが同一の場合の諸元データ (測点除く) の組合せは、同一シート内で重複しないよう入力してください。</p> <p><b>5 注意</b>                      構造物コードは、構造物毎に付番されており、異種の構造物で同一コードが存在する場合があります。そこで、構造物種別を特定するため、以下のコード2桁を構造物コードの先頭に付加し6桁コード (4+2桁) としてください。 (構造物コード: 通常4桁)</p> <table border="0"> <tr><td>橋梁</td><td>04</td></tr> <tr><td>OV</td><td>05</td></tr> <tr><td>トンネル</td><td>08</td></tr> <tr><td>カルバート</td><td>09</td></tr> </table> <p>表示例 (東名高速道路の場合)</p> <table border="0"> <tr><td>橋梁</td><td>040010</td><td>世田谷高架橋</td></tr> <tr><td>OV</td><td>050010</td><td>公園橋</td></tr> <tr><td>トンネル</td><td>080010</td><td>大和 TN</td></tr> <tr><td>カルバート</td><td>099901</td><td>起点側より1</td></tr> </table> <p>なお、カルバートコードについては、技術情報コードによらず、工事 (設計) 起点からの連番 (099901 ~ 099999) としてください。</p>	橋梁	04	OV	05	トンネル	08	カルバート	09	橋梁	040010	世田谷高架橋	OV	050010	公園橋	トンネル	080010	大和 TN	カルバート	099901	起点側より1
橋梁	04																							
OV	05																							
トンネル	08																							
カルバート	09																							
橋梁	040010	世田谷高架橋																						
OV	050010	公園橋																						
トンネル	080010	大和 TN																						
カルバート	099901	起点側より1																						
	自 IC コード	IC コード (技術情報コードを参照)	当該工事目的物の起点側 IC (JCT 含む) コードを3桁で設定してください。																					
	至 IC コード	技 IC コード (技術情報コードを参照)	当該工事目的物の終点側 IC (JCT 含む) コードを設定してください。 工事目的物の設置区分が「IC (JCT 含む)」の場合は不要です。																					
	連絡休憩施設	SA・PA コード (技術情報コードを参照)	工事目的物の設置区分が連絡休憩施設 (SA・PA) の場合は SA・PA コードを設定してください。その他は不要です。																					
	上下区分	上下線区分とルート区分を組合せたもの	上下線区分: 10 上下線共有、20 上り線、30 下り線、40 上下線無関係 ルート区分: 10 右ルート、20 左ルート、30 両ルート、40 区分無し (入力例「2010 上り線右ルート」、「3040 下り線区分無し」...etc) 4																					
	測点 (自)	STA 又は KP	工事区間ではなく、レベル2 (工事目的物) の起点側測点を設定してください。 STA の場合 123+45.67、KP の場合 123.456 (STA、KP の文字は不要)																					
	測点 (至)	STA 又は KP	工事区間ではなく、レベル2 (工事目的物) の終点側測点を設定してください。 STA の場合 123+45.67、KP の場合 123.456 (STA 又は KP の文字は不要)																					
	構造物コード	構造物コード (技術情報コードを参照)	橋梁 (OV 含む) トンネル及びカルバートの場合、該当するコードを設定してください。 5																					
	橋台橋脚番号 (自)	構造物の部位を特定するためのコード (工事記録作成要領補足説明書を参照)	レベル1が 橋梁 の場合に設定してください。 橋梁 A0001、P0001、A0002 また、コード設定は、工事記録収集システムのコード付与方法を参照してください。 6 なお、上記以外のものは工事目的物毎に連番となるよう任意に設定してください。 00001、00002、... or 00010、00020、...etc																					
	橋台橋脚番号 (至)	構造物の部位を特定するためのコード (工事記録作成要領補足説明書を参照)	レベル2が 上部工 の場合のみ設定してください。その他は設定不要です。 同様に 工事記録収集システムのコード付与方法 に従って設定してください。																					
	細目数量	契約項目一覧表に示す細目の数量	細目数量を設定してください。 なお、レベル1 (細目) の配下には、複数の同一レベル2 (工事目的物) が発生する場合がありますが、この場合の細目数量は、同一の細目数量を設定してください。																					
	工事目的物数量	工事目的物の数量	主な内訳本体及び付属構成品に該当する数量を設定して下さい。																					
	-	工事目的物別内訳数量	工事目的物を構成する契約項目の内訳数量を設定してください。																					
A	No	契約項目の連番	当該工事における契約項目の連番となりますので、共通仕様書記載の順序 (5桁の連番) で設定してください。 00001 00002 00003 ...																					
B	項目コード	共通仕様書に示す項目番号	契約項目一覧表に示す項目番号に該当するものを設定してください。 0202 道路掘削、0204 捨土掘削、0801 コンクリート、... 特単価については、9901~9999 (99** : 上2桁を99とする01~99の番号) にて設定してください。																					
C	契約項目コード	契約項目一覧表のコード	契約項目一覧表に示す契約項目コードに該当するものを設定してください。 A110 土砂、A120 軟岩、G011 A1-1、...																					
D	契約項目名称	単価表に出力される契約項目の名称	当該契約項目の名称を設定してください。																					
E	契約項目計	契約項目毎の合計値	契約項目毎に集計された合計値を設定してください。																					

3 技術情報コードは、技術関連の情報システムで使用されているコードとなります。コード一覧については、監督員にお問い合わせください。

4 上下区分コード: 上下線区分コードとルート区分コードを組合せたコード

6 工事記録収集システムのコード付与方法は、工事記録作成要領における各工種の補足説明書に記載されています。

様式-1 ( 工事目的物別数量数量総括表 ): 入力イメージ

工事目的物番号	細目(レベル1)コード	目的物(レベル2)コード	工事目的物名称	路線コード	自ICコード	至ICコード	連絡休憩施設コード	上下区分コード	測点(自)	測点(至)	構造物コード	橋台・橋脚番号	橋台・橋脚番号	細目数量	契約項目計																		
															目的物数量																		
															No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16		
															項目(レベル3)コード	0202	0202	0202	0204	0204	0206	0208	0403	0404	0501	0501	0501	0501	0503	0507	0507		
															契約項目(レベル4)コード	A110	A120	A130	A313	A331	A510	A740	C030	C040	D115	DAB0	DAB0	DAB3	DRA0	DXB1	DXZ1		
															契約項目名称	道路掘削土砂	道路掘削軟岩	道路掘削硬岩	捨土掘削(表土)A	捨土掘削硬岩A	構造物掘削普通部	基礎材砕石	種散布工	種吹付A(客土)	PuL(T-1)・0.3・0.24	PuL・0.5・0.5	PuL・0.7・0.8	PuL・0.6・0.6	集水ますTypeA	Du S 0.2・0.6・0.6	Du P(Dp) 0.15・0.5A		
															4654.4	1570.6	3893.8	708.6	440.2	8757.1	524	2277	753	200.3	37.8	29.5	30	13	44	78			
1	0101	0100	切土 足利IC	1460	70			1040	2+00	2+50				180.8	180.8	41.1	15	34.3															
2	0101	9002	切土 植生のり面工 足利IC(上)	1460	70			2040	2+00	2+50				180.8	69							69											
3	0101	9002	切土 植生のり面工 足利IC(下)	1460	70			3040	2+00	2+50				180.8	69							69											
4	0102	0100	盛土 足利IC	1460	70			1040	2+00	2+50				162.7	162.7	41.1	15	34.3															
5	0102	9002	盛土 植生のり面工 足利IC(上)	1460	70			2040	2+00	2+50				162.7	69							69											
6	0102	9002	盛土 植生のり面工 足利IC(下)	1460	70			3040	2+00	2+50				162.7	69							69											
7	0302	0100	用・排水 排水設備 足利IC(上)	1460	70			2040	2+00	2+50				67.8	37.8								37.8										
8	0302	0100	用・排水 排水設備 足利IC(下)	1460	70			3040	2+00	2+50				67.8	30											30							
9	0302	9001	用・排水 集水ます 足利IC(上)	1460	70			2040	2+00	2+50				67.8	2															2			
10	0302	9001	用・排水 集水ます 足利IC(下)	1460	70			3040	2+00	2+50				67.8	5															5			
11	0101	0100	切土 田沼～足利IC間	1460	70	80		1040	2+30	89+60				11268	11086.7	2286.1	770.3	1912.6															
12	0101	9002	切土 植生のり面工 田沼～足利IC間(上)	1460	70	80		2040	2+30	89+60				11268	376																376		
13	0101	9002	切土 植生のり面工 田沼～足利IC間(下)	1460	70	80		3040	2+30	89+60				11268	377																377		
14	0101	9903	切土 地下排水間	1460	70	80		1040	2+30	89+60				11268	86																44	42	
15	各々の工事目的物に対して工事目的物番号を付番してください。			IC間毎、上下線別の工事目的物の数だけレコードが発生します。橋梁の上部工であれば連単位毎、支承であれば橋脚単位毎に複数個のレコードが出現することになります。					測点については、工事区間ではなく、目的物の範囲を入力する。なお、STA(KP)については、自動認識するため、STA(KP)の文字は入力せず、数字のみ入力してください。					細目の数量を記入してください。同一ICやIC間内の同一細目は全て同じ数量を記入してください。					工事目的物の数量を記入してください。契約項目の単位と工事目的物の単位が異なる場合がありますので注意してください。					注意) "道路掘削"の費用は、「切土」と「盛土」に1/2ずつ按分する必要があります。そのため、契約数量を「盛土」と「切土」に1/2ずつ按分して記入します。									
17	0102	9002	IC間(下)																		1000												
18	0102	9903	盛土 地下排水間	1460	70	80								9978	36																	36	
19	0302	0100	用・排水 排水設備 田沼～足利IC間(上)	1460	70	80								229.8	129.5									100		29.5							
20	0302	0100	用・排水 排水設備 田沼～足利IC間(下)	1460	70	80		3040	15+00	10				229.8	100.3									100.3									
21	0302	9001	用・排水 集水ます 田沼～足利IC間(上)	1460	70	80		2040	5+00	141+80				229.8	2															2			
22	0302	9001	用・排水 集水ます 田沼～足利IC間(下)	1460	70	80		3040	5+00	141+80				229.8	4															4			

様式-2 (工事目的物別代価表): 項目説明

工事目的物番号	工事目的物名称 メモ	No	項目 (レベル3) コード	契約項目 (レベル4) コード	契約項目名称	代価 コード	代価名称	代価 数量	代価 パラメータ
---------	---------------	----	---------------------	-----------------------	--------	-----------	------	----------	-------------

番号	項目名称	コードの意味	コードの種類と入力方法の説明	備考及び注意点
	工事目的物番号	工事目的物を特定するための番号	工事目的物を特定するため、一位となる番号を付番してください。	様式-1 と様式-2 における同一の工事目的物は、同じ番号としてください。
	工事目的物名称	工事目的物の名称	工事目的物が特定できるよう判り易い名称を設定してください。 (例「下部工 高架橋 P1」、「切土 IC~x×IC」、...etc)	
	No	契約項目の連番	当該工事における契約項目の連番となりますので、共通仕様書記載の順序(5桁の連番)で設定してください。 00001 00002 00003 ...	
	項目コード	共通仕様書に示す項目番号	契約項目一覧表に示す項目番号に該当するものを設定してください。 0202 道路掘削、0204 捨土掘削、0801 コンクリート、... 特単価については、9901~9999(99*:上2桁を99とする01~99の番号)にて設定してください。	を「レベル3」と表現します。
	契約項目コード	契約項目一覧表のコード	契約項目一覧表に示す契約項目コードに該当するものを設定してください。 A110 土砂、A120 軟岩、G011 A1-1、... 一つの契約項目に複数の代価が存在する場合がありますので注意してください。 (レベル4とレベル5の関係は1:多の場合があります。) 契約項目一覧表に表記の無い特単価を設定する場合は、「999Z」を設定してください。	を「レベル4」と表現します。
	契約項目名称	単価表に出力される契約項目の名称	当該契約項目の名称を設定してください。	
	代価コード	代価コード	レベル2配下は複数の契約項目で構成される場合がありますので注意してください。 EWA01 道路掘削土砂、CRT05 コンクリート <未登録代価を設定する場合> *AAA01~*AAA99のコードを適宜設定してください。 (99個以上設定する場合は、「*AAA」を「*BBB」として入力してください。) <標準単価を設定する場合> 契約項目コードの後ろに「-1」を設定してください。 例: DAB1-1_Ds-Pu10.30・0.30の標準単価(DAB1:代価Pu10.30・0.30)	を「レベル5」と表現します。
	代価名称	代価の名称	設定代価の名称を設定してください。	
	代価数量	代価数量	工事目的物毎の契約項目配下の代価数量を入力してください。	
	代価パラメータ	代価パラメータ	以降は代価パラメータを入力してください。	

様式-2 ( 工事目的物別代価表 ): 入力イメージ

工事目的物番号	工事目的物名称 メモ	No	項目 (レベル3) コード	契約項目 (レベル4) コード	契約項目名称	代価 コード	代価名称	代価 数量	代価 パラメータ										
1	切土 足利IC	1	0202	A110	道路掘削土砂	EWA02	道路掘削土砂(小型ブルドーザ施工)	41.1	1	CC	30	30	1						
1	切土 足利IC	2	0202	A120	道路掘削軟岩	EWA12	道路掘削軟岩(小型ブルドーザ施工)	15	1	UA	20	30	1						
1	切土 足利IC	3	0202	A130	道路掘削硬岩	EWA22	道路掘削硬岩(小型ブルドーザ施工)	34.3	1	RAS	50	30	1						
2	切土 植生のり面工 足利IC(上)	9	0404	C040	種吹付A(客土)	FSW70	種吹付工 - A	69	1	0									
3	切土 植生のり面工 足利IC(下)	9	0404	C040	種吹付A(客土)	FSW70	種吹付工 - A	69	1	0									
4	盛土 足利IC	1	0202	A110	道路掘削土砂	EWA02	道路掘削土砂(小型ブルドーザ施工)	41.1	1	CC	30	30	1						
4	盛土 足利IC	2	0202	A120	道路掘削軟岩	EWA12	道路掘削軟岩(小型ブルドーザ施工)	15	1	UA	20	30	1						
4	盛土 足利IC	3	0202	A130	道路掘削硬岩	EWA22	道路掘削硬岩(小型ブルドーザ施工)	34.3	1	RAS	50	30	1						
5	盛土 のり面工 足利IC(上)	3	0300	C030	種散布工	FSV70	種散布工 - A	69											
6	工事目的物別数量内訳シートにて設定した工事目的物番号を記入してください。							69											
7					0.5			37.8	0.69	300	9210	0	0.26	0.07	0.01	2	1	2	0
8					0.6			30	3	3	1	0	0						
9					TypeA			2	0.78	1	1	0.22	2.34	0	0	0	0.4	0	2
10	用・排水 集水ます 足利IC(下)				TypeA			5	0.78	1	1	0.22	2.34	0	0	0	0.4	0	2
11	切土 田沼～足利IC間				土砂	EWA02	道路掘削土砂(小型ブルドーザ施工)	2286.1	1	CC	30	30	1						
11	切土 田沼～足利IC間	2	0202	A120	道路掘削軟岩	EWA12	道路掘削軟岩(小型ブルドーザ施工)	770.3	1	UA	20	30	1						
11	切土 田沼～足利IC間	3	0202	A130	道路掘削硬岩	EWA22	道路掘削硬岩(小型ブルドーザ施工)	1912.6	1	RAS	50	30	1						
11	切土 田沼～足利IC間	4	0204	A313	捨土掘削(表土)A	EWK51	表土削取り工(ダンプ運搬)	708.6	2.8	1	11								
11	切土 田沼～足利IC間	5	0204	A331	捨土掘削硬岩A	EWC28	捨土掘削硬岩(小規模ショベル・ダンプ施工)	440.2	1	RAS	0	2.6	1	1	11				
12	切土 植生のり面工 田沼～足利IC間(上)	9	0404	C040	種吹付A(客土)	FSW70	種吹付工 - A	376	1	0									
13	切土 植生のり面工 田沼～足利IC間(下)	9	0404	C040	種吹付A(客土)	FSW70	種吹付工 - A	377	1	0									

レベル3,4コードについては、契約項目一覧表を参照し記入してください。記入の際は、契約項目一覧表にて設定されているコード体系を設定してください。また、様式-1にて設定している「工事目的物諸元と契約項目No。」の関連性は保守してください。

代価コードを入力してください。  
また、未登録代価を適用する場合は、\*AAA01～\*AAA99のコードを適宜設定してください。  
(99個以上設定する場合は、\*AAAを\*BBBとして入力してください。)